

ほうすう

鳳雛だより

河内町立かわち学園

2024/10/1 発行 第5号

茨城県稲敷郡河内町長竿5456番地1

TEL 0297-84-6233 FAX 0297-84-5377



体育祭（9/26） ～児童生徒の活躍に、みんなの笑顔があふれる～

「勝利へのバトンを繋ぎきれ！ 燃やせ全力 かわちっ子パワー！」のスローガンのもと、児童生徒がかわちっ子パワー全開で活躍しました。

両団とも工夫され心が一つになった応援合戦、ゴールを目指してカー杯に走った個人種目、みんなで声を掛け合い協力して取り組みチームの一体感があらわれていた団体種目、みんなの声援を受けて懸命に走った代表リレー、団全員でつないだ大玉ダービー、自分の役割を主体的に責任をもって果たした開閉会式や係活動など、様々な場面で児童生徒一人一人が生き生きと輝き、会場中も熱気に包まれ、笑顔があふれていました。すばらしい体育祭でした。

御来賓・御家族・地域の皆様、御多用のところ御来校いただき、児童に温かい拍手、熱い声援をたくさん送ってくださりましてありがとうございました。児童生徒にとっては大きな励みとなったことと思います。また、PTA役員やボランティアの皆様には、駐車場の整理等に御協力いただき助かりました。ありがとうございました。



【特別活動について】

特別活動は、学級活動、児童会活動・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の4つの内容で構成され、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、児童生徒の資質・能力（3つの視点：人間関係形成、社会参画、自己実現）を育成することを目指して行われるものです。（学習指導要領より）

学校においては、教科の学習が中心ですが、学級経営・教科指導・生徒指導等との関連も密接である特別活動が果たす役割は重要であり、そのねらいを十分に踏まえ、特別活動の充実を図るように努めています。

本年度は、特別活動においても、「主体性」と「関わり合う・認め合う・支え合う・学び合う」を大切にして取り組んでいます。上記の体育祭は、保健安全・体育的行事の一つであり、児童生徒が主役で、児童生徒主体の体育祭になるように努めてまいりました。今後の学級活動や学校行事等におきましても、この2つのことを大切にして、教育活動の質を高め、児童生徒の資質・能力の向上を図っていききたいと思います。御理解・御協力をお願いいたします。



4 年校外学習（9/11）

茨城県庁と茨城空港へ行ってきました。4年生では社会科で茨城県について学習しています。県政の中心である県庁を実際に訪れるのは初めてで、県の仕組みや産業の話を聞くことで、さらに茨城県についての理解を深めることができました。高速エレベーターで25階の展望ロビーに着くと、360度に広がる眺めに感動していました。茨城空港では、目の前の滑走路を走る飛行機の姿に目が釘付けになっていました。茨城からは国内をはじめ、世界に向けて飛行機が飛び立つことを知り、「乗ってみたいな」という声がたくさん聞かれました。



選手壮行会（9/11） 郡新人体育大会（9/19～9/21）

9/11に、後期課程では新人体育大会に向けての壮行会が行われました。引退した9年生が見守る中、部活動ごとに大会にかける意気込みを力強く発表しました。

郡新人体育大会では、どの会場でも、勝利を目指して全力でプレーする姿、そして声を振り絞って仲間を応援する姿があり、心から感動しました。保護者の皆様にも早朝の送迎や、どの会場でも温かい御声援をいただき、ありがとうございました。

10/2（水）からの県南大会もがんばってほしいと思います。



【バスケットボール】

○男子 優勝
○女子 優勝



【男子卓球】

○団体 準優勝
○シングルス 第3位
第5位
第8位
○ダブルス 準優勝



【サッカー】

○竹来中と合同チーム
で健闘



【女子バレーボール】

○1勝



【女子ソフトテニス】

○団体 1勝
○ダブルス 第6位

多目的室の前に詳しい結果を掲示しています。
学校に来た際に、どうぞご覧ください。

<県南大会出場> ○バスケットボール部（男女） ○男子卓球シングルス3名、ダブルス1組
○女子ソフトテニス部 ダブルス1組

縦割り班活動（9/19）

～ 異学年交流 ～



3回目の縦割り班活動が行われました。1年生から6年生の混合の班で、月に1回のロング昼休みにみんなで仲よく遊んでいます。遊びの内容は、4月に班ごとに話合って決めました。6年生がリーダーシップをとって進めています。最初の頃は、たどたどしかった説明や声掛けも、今では堂々とできるようになり、頼もしさが伝わってきます。前期課程のリーダーとして、これからもぐいぐい引っ張っていくことでしょう。活動最後の反省では、もっと遊びたくて、自分の教室に戻りたくないという低学年の姿に、照れているけど、ちょっぴりうれしい6年生の姿が印象的でした。

～ 教職員コーナー ～

計 画 訪 問

1年間に数回、町教育委員会や県南教育事務所の先生方に授業の様子や施設の状況等を観ていただき、よりよい学校運営や授業等になるように御指導・御助言をいただく学校訪問があります。今回は、夏休みを活用して、何度も練り直して作成した指導案をもとに授業を展開しました。放課後に研究協議及び講師指導があり、さらによりよい授業になるように学ぶことができました。児童生徒は、どの授業でも、主体的・協働的・探究的に学んでいました。

